職種：企画・開発　　職務：企画・開発

【概要】

　お客様ニーズの移り変わり、最新の美容、化粧品、美容機器などの情報を踏まえて、新たなエステティック商品･サービスの企画・開発を行う仕事。

【仕事の内容】

新商品・新サービスの企画・開発においては、市場動向に関する十分なマーケティング調査を行ったうえで、ブランド価値や付加価値を高めるような開発コンセプトを構築し、自社の品質基準に即して開発を推進することが求められる。新サービスの開発には、既存サービスの統廃合を含めた検討が必要であり、統廃合にあたっては、他のサービスとの整合性を踏まえて、最適なサービス構成を提案する。

企画・開発の過程では、企画したエステティック商品やサービスが関係法令や業界団体、企業・店舗・サロンの倫理規定・行動規範等に反しないか確認しつつ、最適な販売促進キャンペーンを立案することが重要である。特に、販売促進や契約の際に消費者とトラブルとなる場合もあるため、商品企画・開発の段階でリスクを最小化する手段を講じることが求められる。

全ての店舗・サロンで同じ品質のサービス内容を実現するため、多店舗展開する企業では、企画・開発部門は本社・本部に置かれる場合が殆どである。新規サービスを店舗・サロンに展開する際には、教育・研修部門と協力して、エステティシャンがサービス内容をお客様に説明できるように具体的な技術、方法、使用する機器や化粧品類などの情報をテキストに整理するなどの現場支援も重要である。

【求められる経験・能力】

1. 店舗・サロンで一定の現場経験を積んだのち、企画・開発部門に異動することもあるが、他業界からの経歴者採用（中途採用）の場合も少なくない。
2. お客様の関心は、エステティックだけでなく広く美容や健康を高める事項全般に及ぶため、企画・開発担当者には、美容や健康に関して最新の動向をチェックして、お客様のニーズを掘り起こす提案をすることが求められる。このため、最新の技術・美容動向に精通して、絶えず向上し続けることが重要となる。
3. サービス内容の決定や単価設定に当たっては、1回のサービスにかかる時間や、使用する化粧品、美容機器などのコスト感覚が求められる。さらに、企画したエステティック・サービスが販売促進時、契約時に消費者とトラブルにならないよう、主要法令や倫理規定・行動規範に関する十分な知識を有し、リスク感覚を持って慎重に検討を進める姿勢も求められる。

【関連する資格・検定等】

* 職能団体、業界団体、教育機関団体等による各種認定資格・検定等
* 毒物劇物取扱責任者〔厚生労働省　毒物及び劇物取締法〕など

【厚生労働省編職業分類（小分類）との対応】

２５３ 企画・調査事務員

３８３　美容サービス職

職種：教育研修　　職務：教育研修

【概要】

　エステティシャン育成のための教育体系や研修プログラムを企画・開発し、研修講師などとして第一線のスタッフの指導・育成を推進する仕事。（人事部門が行う全社的な教育研修の企画・実施の仕事は含まない。）

【仕事の内容】

エステティシャンの能力向上を目的とした教育手法を開発し、スキンケアなどのトリートメントに関する研修や、コミュニケーション、マナー、法令知識などに関する各種研修を企画・開発する仕事である。研修プログラムを作成するだけでなく、エステティシャンやカウンセラーとしての豊富な知識・経験を活かして、講師として実際に研修を実施する仕事も含まれる。全ての店舗・サロンで同じ品質のサービス提供を実現するため、多店舗展開する企業では、教育研修部門は本社・本部に置かれる場合が殆どである。

他社との差別化を実現し、より質の高いエステティック・サービスを提供するためには、店舗・サロンの第一線で働くスタッフの技能・技術の向上が欠かせない。また、エステティシャンの中には、各種・専修学校の卒業者など入職時点でエステティックに関する一定の知識・技術を有する者がいる一方で、全く未経験でエステティシャンとして入職する場合もあり、この場合には、教育研修によって速やかに即戦力化していくことが不可欠となる。

エステティック業にとって、競争力の源泉は現場のエステティシャンやカウンセラーが提供するサービス品質であり、教育研修の仕事はそれを根底から支える極めて重要な仕事であるといえる。

【求められる経験・能力】

1. 通常は、店舗・サロンで一定の現場経験を積んだのち、教育研修部門に異動することが多い。経歴者採用の場合には、十分な実務知識と専門知識が問われる。
2. エステティック業では様々な技術・技法の開発が続けられており、関連する法令や資格検定制度なども多岐にわたる。このため、教育研修の担当者には、自ら高い技術をもつことのみならず、最新の技術動向や法令動向などに精通し、絶えず新しい教育技法に対して柔軟な姿勢を持って向上し続けることが求められる。
3. 優秀なプレイヤーが優秀な指導者になるとは限らない。教育研修の担当者には、高度な知識や技術のみならず、自分の技術を効果的に後輩に伝えていくためのコミュニケーション・スキルや育成スキルが強く求められる。

【関連する資格・検定等】

* 職能団体・業界団体等による各種認定講師等

【厚生労働省編職業分類（小分類）との対応】

３８３　美容サービス職